



## News Release

2017年9月26日

# 東京スター銀行

株式会社ビーロットとのシンジケーション方式無担保コミットメントライン契約の締結について  
～ 当行がシンジケートローンのアレンジャー兼エージェントを務め、6金融機関が参加～

株式会社東京スター銀行（東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治）は、このたび、東証マザーズ上場の株式会社ビーロット（東京都港区、代表取締役社長 宮内 誠、以下「ビーロット社」）と当行ならびに6金融機関との間で、総額15億円のシンジケーション方式無担保コミットメントライン契約を締結しましたのでお知らせいたします。

ビーロット社は、収益性や資産価値が過小評価されている商業ビル等収益不動産を取得し、賃料水準・稼働率の向上、テナント誘致、管理体制やコストの見直しなどの実施により同不動産の価値向上を図ったうえで、海外を含む個人投資家および資産管理会社、不動産ファンドなどへ売却する不動産投資開発事業を主軸としていて、6期連続で増収増益と業容拡大を続けています。

今般、ビーロット社の業容拡大にともなう増加資金ニーズに対し、通常は取り引きのある金融機関でも提供することが少ない不動産投資・開発を行う会社の運転資金へのファイナンスにも関わらず、不動産投資開発事業の実績や堅実な資金計画を裏付ける詳細な財務資料を同社が開示したことに加え、当行がアレンジャーとして業界および同社に対する見方をシェアしたことが奏功し、同社にとって新規取引金融機関となる6社の参加を得たうえで、シンジケートローンを組成することができました。

本件により、ビーロット社は、新規投資の資金ニーズに機動的に対応できるようになり、市場の潜在ニーズを先取りした不動産投資商品の企画・開発をより推進させるとともに、外部資金調達力をさらに強化させていくことが可能になります。

当行は、不動産/LBO/再生ファイナンスやプロジェクトファイナンスなど高度な専門知識やノウハウが必要とされる分野で長年にわたり実績を積み上げてきました。現在は、そうした専門知識やノウハウ等を地域金融機関などと共有し、協働しながらシンジケートローンの組成を積極的に推進しており、トムソン・ロイター・マーケッツ株式会社が毎年公表している国内シンジケートローンにおけるブックランナーランキングでは、昨年、地域金融機関として2位となりました。

当行は、今後もシンジケートローンを積極的に活用し、全国の地域金融機関と連携しながら、お客さまのビジネスや事業ステージに応じた最適なファイナンス提供を通じた成長支援を行ってまいります。

(ご参考) 9月26日時点の各社概要

**【株式会社ビーロットの概要】**

---

創業: 2008年10月  
代表者: 代表取締役社長 宮内 誠  
本社: 東京都港区新橋二丁目19番10号  
資本金: 9億4,367万円(2017年6月30日現在)  
事業内容: 不動産投資開発事業、不動産コンサルティング事業、不動産マネジメント事業  
証券コード: 3452 東証マザーズ  
ホームページ: <http://www.b-lot.co.jp/>

---

**【株式会社東京スター銀行の概要】**

---

創業: 2001年6月  
代表者: 代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治  
本社: 東京都港区赤坂二丁目3番5号  
資本金: 260億円  
ホームページ: <http://www.tokyostarbank.co.jp>

---